

広報 ひろば **たいせつ**

2月号目次

- P 2～4 … 平成31年産米作付に向けて
- P 5 …… たいせつHOTニュース
- P 6 …… JAグループ通信
- P 7～9 … 各部署からのお知らせ
- P 10 …… 理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ



1月23日～24日の日程で行われた
東北・北海道JA青年大会においてJAたいせつが最優秀賞を受賞しました

ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>

「安全・安心なお米の生産と

安定供給・環境にやさしい農業」

平成31年産水稻の作付けに向けて

昨年の気象並びに作況（上川農業改良普及センター調査、品種ななつぼし）を振り返りますと、融雪は平年よりも早く進み、4月下旬から好天ではありましたが、5月中旬の高温の影響により移植時の苗質は平年並みとなりました。

たいせつ地域の移植作業は、早いところで5月16日頃から始まりました。6月に入ると低温や日照不足等が原因となり生育は停滞し、6月中旬の作況調査では平年比の8割程度、7月以降も低温と日照不足は続き、7月中旬に行った作況調査でも平年比の8割程となりました。成熟期は平年より6日遅れとなりました。病害虫発生概況として、紋枯病やいもち病、カメムシ類の発生がごく一部でありましたが、適切な対応・防除が実施されたことにより、収量や品質への影響はほとんどありませんでした。

最終的な作況指数としては北海道、上川管内ともに90の「不良」となりました。青未熟・死米の発生による玄米品質低下がみられ、北海道の整粒割合は過去3年で最も低い64.9%となってしまいました。㎡当たり穂数と㎡当たり総粒数が平年よりも少なくなり、収量低下に繋がりました。

31年産米の作付けについても、基本に立ち返り「信頼される米産地」として「安全・安心なお米の生産と安定供給」そして「環境にやさしい農業」に取り組みましょう。



1 高品質・良食味米の生産について

低タンパク米生産は産地評価に繋がりますので、今後も高品質・良食味米の生産量拡大へ積極的に取り組みましょう。

低タンパク米の生産には土壌内の可給態ケイ酸と培養窒素の含有量が大きく影響します。

可給態ケイ酸については表1を、培養窒素については後述の表2を参考に適正施肥量を判断しましょう。

表1 土壌分析値による施用量

可給態ケイ酸 (/100g)	ケイカル施用量 (kg /10a)
10mg未満	180～240
10～13mg	120～180
13～16mg	60～120
16mg	60

水田の早期乾燥化も高品質・良食味米の生産における要素の一つです。水田がしっかりと乾燥しないまま作付けを行うと、「ワキ」が発生し稲の生育に対し悪影響がありますので、たいせつ地域では3月中旬頃からの早期融雪を行い早期乾燥に努めましょう。また、溝切り、心土砕碎等を実施し表面水排除・透排水性の改善も行いましょう。



近年の異常気象に対応した稲作りを行うには水管理が大変重要です。不稔防止のためにも、冷害危険期に適正な深水管理が可能な畦畔高の確保と漏水防止、また水深測定板を活用し、適切な水管理を行いましょ。

表2 土壌ごとの窒素適正施用量

土壌窒素肥沃度水準	低地土（乾田） 目標収量 570kg /10a		低地土（半湿田） 目標収量 570kg /10a		台地土 目標収量 540kg /10a		泥炭土 目標収量 570kg /10a	
	培養窒素量 (mg/100g)	基肥窒素量 (Ng/10a)	培養窒素量 (mg/100g)	基肥窒素量 (Ng/10a)	培養窒素量 (mg/100g)	基肥窒素量 (Ng/10a)	培養窒素量 (mg/100g)	基肥窒素量 (Ng/10a)
低い	6.0以下	10.0	7.0以下	9.5	5.0以下	9.0	5.5以下	8.0
中位	6.1～10.0	9.5	7.1～15.0	9.0	5.1～13.0	8.5	5.6～13.0	7.5
やや高い	10.1～12.0	9.0	15.1～18.0	8.5	13.1～15.0	8.0	13.1～15.5	7.0
高い	12.1以上	8.5	18.1以上	8.0	15.1以上	7.5	15.6以上	6.5

2 水稻苗床の土壌分析を実施しましょう。

水稻苗床ではリン酸が蓄積しているハウスやpHが適正值（4.5～5.0）でないハウスが近年多く見受けられます。高品質米生産に向けpHの早期調整をしましょう。pHの測定は営農センターにて随時受け付けておりますので、お気軽にお申し付けください。

適正施肥量の目安として表2を参考に施肥量を決めましょう。水田が乾き、耕起の際に土ぼこりが発生する場合は、更に窒素成分で0.5～1.0kg/10aの減肥を検討して下さい。

3 適期移植を行いましょ。

近年では4月から5月にかけて気温が高く、育苗日数が30日未満でも移植するのに十分な葉齢に達している苗が散見されます。徒長・老化苗の移植は早期異常出穂や茎数不足等の要因となります。苗の葉齢に合わせて水田の準備を実施し、適期を逃さないように心がけましょう。

表3 移植時葉数の目安

品 種	成苗ポット	中苗マット
ゆめびりか	3.6～4.3葉	3.0葉～
ななつぼし	3.6～4.0葉	
きらら397	3.6～4.4葉	

4 農薬散布・本田防除について

「環境にやさしい農業」の取り組みを強化しながら、徹底した農薬飛散防止に努めるとともに、使用農薬11回成分以内に取り組みましょう。

除草剤散布においては散布のタイミングが大変重要です。近年、5～6月の気温の上昇により雑草が急激に生育し、除草剤の効果が得られず残草するほ場が見受けられます。昨年は除草剤散布時期と6月末からの低温と寡照の時期が重なり、稲の生育に悪影響を及ぼしてしまいうこともありました。ほ場の状態と天候・気温をこまめに確認し、適期散布に努めましょう。

本田防除については、播種同時施用薬剤の使用が多くなり、いもち病の発生が少なくなっています。しかし、いもち病が発生すると周辺の水田にも被害が拡大します。箱施用剤または水面施用剤を使用し、いもち病の発生を未然に防ぎましょう。

農薬の散布後は清掃を徹底し、残留農薬事故・農作業事故が無いようにしましょう。



5 施設調製米で産地指定確保

消費者・実需者の安全・安心志向が一層高まる中で、均一・大口の「安全・安心なお米の生産と安定供給」が産地としての責務です。その為には施設調製を基本においた生産体制が重要であり、全生産者による取り組みで対応していかなければなりません。産地指定先では、施設調製米が第一の買入条件であることから、今後も「日本の食糧基地」として需要に沿った米づくりに取り組みましょう。



6 稲わらは適正に処理しましょう。

「稲わらの野焼き」は農業のイメージ低下、産地評価の低下にも繋がります。稲わらは搬出し、堆肥化してほ場へ施用し地力向上を図りましょう。

7 作業や生育経過をこまめに記録しましょう。

農協やホクレンが配布する栽培履歴やあんしんネットGAPチェックシートなどを用いて栽培・生産の工程を記録しています。しかし、ほ場やハウス毎の生育経過や作業日の天候、実際の収穫日などは記録できておりません。個人でこまめに生育経過等を記録し、次年度以降の改善に向けての参考資料にしましょう。

8 降雪によるハウスの倒壊に注意しましょう。

例年、2～3月にかけてのまとまった降雪が見られます。今後も天候に注視しハウスの倒壊には十分に注意しましょう。

～省力化技術情報～

水稲作付面積の確保に向けて

1戸当たりの水稲作付面積が年々拡大していくと、それに伴い育苗ハウスの増設や労働力確保などの問題が上がってきます。現状、その育苗ハウス設置のための育苗用地や農作業従事者不足等の課題もあります。

そこで、近年導入されつつある省力化技術の一部特徴、留意点をご紹介します。

疎植栽培（適正品種：ななつぼし・そらゆき）

慣行栽培に比べ株間を広げて移植する栽培法。移植時の作業負担が軽減し、現在の育苗用地のまま面積の拡大を図ることができる。田植え機が対応可能であれば、比較的費用がかからないため導入しやすい。

留意点

- 慣行栽培よりも初期生育が劣るため、健苗育成と側条施肥の導入をし収量確保に努める
- 田植え機が株間 18 cm 以上に対応できるか確認をする

湛水直播栽培（適正品種：上育 471 号・ほしまる）※上育 471 号は新品種

水田に直接播種する栽培法。育苗作業がなくなるため作業負担が軽減される。ハウス育苗の必要がなくなるため、新たな育苗用地の確保がいらぬ。

留意点

- 移植栽培とは違った栽培技術が必要
- 移植栽培よりこまめな管理（除草剤散布・追肥等）が必要になる

密苗栽培（適正品種：早生品種）

慣行栽培よりも一箱当たり播種量を 2～3 倍程増やして播種する栽培法。一箱当たり播種量を増やすため、育苗箱数や育苗用地を現状のまま面積の拡大を図ることができる。移植作業時間を減らすことができる。

留意点

- 育苗期間が 20 日前後と短いため栽培計画をしっかりと立てる
- 慣行栽培よりも初期生育が劣るため、健苗育成と側条施肥の導入をし収量確保に努める

※省力化技術につきましては正しい方法でないとリスクが伴うため、実施を検討される方は一度農協にご相談ください。

1月17日（木） 旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部 第16回定期総会

J Aたいせつ本所事務所2階大会議室において、第16回旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部定期総会が開催されました。

総会は木下忠行会長の挨拶によって始まり、来賓としてJ Aたいせつより松原剛志代表理事組合長、山原茂代表理事専務、三浦義昭参事、金塚仁司営農部長、上川農業改良普及センターより田下浩二地域第3係長、株式会社鷹栖町農業振興公社より小滝博和取締役統括課長、旭川青果物出荷組合連合会より吉田友弘課長にご臨席を頂くなか、松原代表理事組合長、田下地域第3係長、小滝取締役統括課長よりそれぞれご挨拶を頂きました。



議事では、議長に東鷹栖地区15区農事組合の五十嵐澄夫さんが選出され「平成30年度事業報告及び収支決算報告」「平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）」「平成31年度会費の賦課及び徴収について」が審議され、議長の円滑な議事進行により、すべて原案通り承認を頂きました。



平成31年度も協議会事業を通じて、たいせつ地域産野菜のPR活動の実施や残留農薬事故・異物混入事故の根絶による安全で安心な野菜生産の推進と共に、会員皆様のご協力を頂き視察研修や女性研修の開催、各品目部会への支援などの実施により、活動を盛り上げて参りたいと考えておりますので、より一層のご理解とご参加を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

東北・北海道地区 J A 青年大会において最優秀賞を獲得

1月23日～24日の日程にて福島県で開催された東北・北海道地区 J A 青年大会において、北海道代表として J A 青年組織活動実績発表大会に出場した当 J A たいせつ青年部が見事最優秀賞の栄冠に輝き、 J A 全国青年大会への出場が決定致しました。

J A たいせつ青年部（発表者：東鷹栖16区 外川光さん）では「Make a smile～絆が繋いだ物語～」をテーマに、青年部が主体となって行われている田んぼアートの現在までの取り組みや、田んぼアートを通じた消費者と農業を繋ぐ交流活動を中心に発表が行われ、非常に高い評価をいただきました。

J A 全国青年大会は2月19日～20日の日程にて東京で開催されますので、皆様の応援をお願い申し上げます。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBSAイトをご覧ください。

JA北海道中央会



JAグループ北海道は平成30年12月17日に、北農ビルで9月に刈り取った稲の脱穀やしめ縄づくりを行いました。田植えから稲刈りまで、1年を通して行ってきた食育活動「街なか田んぼ」の最終回として、中の島興正保育園の園児10名が参加し、園児自らが茶碗を使って稲を脱穀、すり鉢で粗すりをした後、精米機を使って精米まで行いました。ご飯が炊けるまでの間、稲わらを使ったしめ縄づくりも体験。最後は炊きたてのご飯でおにぎりを握り、自分たちが作ったお米を味わいました。

JAグループ北海道は、これからも農業体験を通じて食と農の大切さを子供たちに伝えて参ります。



JA北海道信連



昨年12月に、地域貢献活動の一環として、サンタクロースに扮したJAバンクのキャラクター「ちよリス」が、被災地のむかわ町、厚真町、安平町と釧路市・中標津町の幼稚園等10カ所を訪問しました。

園児らと野菜しりとりゲームやダンスなどで楽しく交流し、最後にちよリスからクリスマスプレゼントを贈りました。地震により被災した地区の子供達も、ちよリスとの触れ合う時間を楽しんでいました。



ホクレン



ホクレンは、冬に美味しい北海道かぼちゃ「りようおもい」をアピールするイベント「冬至には『りようおもい』を食べよう!」を昨年12月15日、札幌市清田区のイオン札幌平岡店で開きました。同店の青果売り場で「りようおもい」を販売するとともに、(株)りようおもいの協力を得て、「りようおもい」を使用したぜんざい1,000食を正午から15時から2回に分けて来店客に提供しました。終了する盛況ぶりでした。



JA共済連北海道



2月4日から11日まで開催される「第70回さっぽろ雪まつり」大通会場4丁目にて、『平成30年度JA共済連北海道・中学生交通安全ポスターコンクール』の入賞作品63点を展示します。交通安全の大切さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの力作をぜひご鑑賞ください。

JAとJA共済連北海道は、今年もさまざまな地域貢献活動に取り組んでまいります。



JA北海道厚生連



12月18日(火)札幌厚生院小児科病棟にてクリスマス会が開催され、コンサドーレ札幌の深井選手と菅選手、ドーレ君、コンサドーレが病院を訪問されました。この企画は、JAグループ北海道と北海道フットボールクラブとの相互協力協定に基づき、食育とスポーツ文化、地域文化振興にかかわる事業の一環として行われ、今年が11回目となります。プロ選手を目の前にして、緊張気味の子どもたちでしたが、PK合戦やダンスで緊張もほぐれ大いに盛り上がり、満面の笑みを浮かべていました。



金融課からのお知らせ

窓口利用自店内振込に関するお知らせ

日頃よりJAバンクをご利用いただき、誠にありがとうございます。

平成31年4月1日より窓口利用による、たいせつ農協同一支店内及び本支所間宛への振込につきまして一部の取引を除き所定の手数料を徴収させていただきます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。なお、窓口以外のATM・インターネットバンキング等による振込については無料とさせていただきます。

ご不明な点につきましては、お手数ですが各店舗金融窓口へご相談、詳細につきましては「各種手数料改定に関するお知らせ」をご参照下さい。

今後とも引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

項目	自店宛（店内）、本支所宛	
窓口利用による、自店内口座への振込	5万円未満	108円
	5万円以上	324円

※以下の取引については無料とさせていただきます。

【手数料減免取引】 営農に関する振込（小作料・労賃・生産資材・機械代等）

各種手数料改定に関するお知らせ

日頃よりJAをご利用頂き、誠にありがとうございます。平成31年4月1日より、以下の通り各種手数料を改正させていただきます。

詳しくは店頭にてお問い合わせ下さい。

【為替】

（単位：円）

項目	JAバンク系統宛			他金融機関宛		自店宛（店内）、 本支所宛
	為替					
○ 為替・定例振込手数料						
窓口利用	5万円未満	216	648	108		108
	5万円以上	432	864	324		324
ATM利用	5万円未満	216	432	無料		無料
	5万円以上	432	648	無料		無料
インターネットバンキング振込手数料	5万円未満	108	324	無料		無料
	5万円以上	216	432	無料		無料
視覚障害者等によりご自身でATMのご利用が困難で窓口を利用する場合	5万円未満	216	432	無料		無料
	5万円以上	432	648	無料		無料
○ 代金取立手数料 1通につき	至急扱い	648	648			
	普通扱い					
○ 送金・振込組戻料		648	648			
○ 取立手形組戻料						
○ 取立手形店頭呈示料						
○ 不渡手形返却料						
○ インターネットバンキング利用手数料（月額）		無料				

お問い合わせ先：本所金融課 ☎ 0166-57-2345 / 支所管理金融課 ☎ 0166-87-2121

欲しい車がきっと見つかる！

自動車展示会 開催決定!!

日時：平成31年2月22日（金）・23日（土）

場所：(株)ホクレン油機サービス

アロック旭川店
(旭川市永山2条13丁目)

新車・中古車

約150台集結!!

★ご来場で粗品プレゼント

★ご成約で記念品プレゼント

軽トラも多数集結!

特選車あり!!

新生活応援キャンペーン

新車・中古車ご成約で
素敵なプレゼント進呈いたします!

対象車種：農協より購入する自動車全種
(メーカー・新車・中古車問わず)
対象者：平成31年3月卒業予定の方

A：ライオントップスーパーナノックスギフトセット
B：バラエティ調味料ギフトセット
C：ペスカロロ ミノバス・フェイスタオルセット
D：ツインバード コードレスハンディクリーナー
E：ドリテックさすだけ充電ラジオライト
※上記5点より1点進呈。

対象期間：平成31年1月1日～3月20日

主催 上川管内中央部農協 (株)ホクレン油機サービス
旭川系統自動車推進連絡協議会 ホクレン旭川支所

～農家の相続セミナー開催のご案内～

当組合の顧問弁護士である田代耕平氏（札幌総合法律事務所）を講師としてお招きして相続セミナーを開催いたします。

相続は色々な問題に関連することから、将来的に皆さんにも必ず直面する身近な事柄かと思われます。現在心配に思われている方はもちろん、そうでない方にとっても有意義な研修内容ですので、是非この機会にご参加下さいます様ご案内いたします。

<開催日時> 平成31年2月22日(金) 13:30～15:00(質疑応答含む)

<会場> J Aたいせつ本所2F大会議室

<テーマ> 「遺産分割協議のやり方と今すぐできる遺言書の作り方」

例えば・・・

- ・相続法が改正されました。
- ・法定相続分を理解しましょう。
- ・どうして仲のよかった兄弟でもめるのでしょうか？
- ・遺言書の作成方法を理解しましょう。
- ・遺留分減殺請求ってなんだ？
- ・農地を守るためにやるべきこと
- ・(おまけ)相続税の基本知識 e t c.



<講師> 弁護士 田代耕平氏(札幌総合法律事務所)

【経歴】 1976年生まれ 旭川市東鷹栖出身

法政大学法学部法律学科卒業

東北大学法科大学院卒業

2007年弁護士登録(札幌弁護士会)

2013年11月J Aたいせつと顧問契約

<参加費> 無料 ※参加希望の方は2/18(月)までにお申込ください。

<申込先> 本所 / 営農支援課 TEL 57-2357

鷹栖支所 / 営農施設課 TEL 87-4111

理事会からのご報告

平成三十年十二月十四日第十一回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、平成二十九年産うるち米共計精算金および平成三十年産うるち米追加概算金の支払について

平成二十九年産米共計精算等の最終支払、平成三十年産うるち米追加概算金の支払いについて原案通り承認決定されました。

二、組合員資格喪失について

原案通り承認決定されました。

三、組合員の持分譲渡承認について

原案通り承認決定されました。

四、定款五十七条二項による組合と理事の契約承認について

理事が代表を務める団体に対しての貸付一件及び、理事に対する貸付一件について承認決定されました。

五、組合員資格審査について

原案通り承認決定されました。

六、ホクレントラック東鷹栖事業所廃止について

原案通り承認決定されました。

七、(有)JAあぐりサービス出資金について

原案通り承認決定されました。

八、平成三十年年度農事組合長・町内会長手当の支給について

正組合員一戸…一、五〇〇円、準組合員一戸…五〇〇円支給について原案通り承認決定されました。

監事会からのご報告

平成三十年十二月十四日第十回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、全国監査機構監査期中IIについて
事務整備事項について内容を説明した。

二、監事監査規程・監事会規則の改定について

改定内容について説明した。



「たいせつ」のあゆみ

1月

- 1月7日 役職員コンプライアンス研修会
- 1月8日 企画会議・安全衛生委員会
- 1月11日 第1回役員推薦会議
- 1月17日 農事組合長・町内会長会議
青果協議会たいせつ支部総会
- 1月21日 第12回理事会
貯金温泉湯治く23日
- 1月29日 農協事業地区別懇談会く30日
- 1月31日 決算棚卸

お世話になりました

●退職

(平成30年12月31日付)

購買部機械燃料課 燃料給油所係

松崎 朱里

(平成31年1月31日付)

金融部共済課 共済係

須賀 美聡